

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 一宮市立浅野小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒491-0871
愛知県一宮市浅野字野口95番地

E-mail : asano-e@city.ichinomiya.aichi.jp

Website : http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=2310148

児童生徒数：男子 276名 女子 249名 合計 525名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- 1 研究テーマ 「浅野小学校におけるESDの取り組みについて」
～それぞれのトピック（領域）について学年の発達を考える～

2 研究の内容

本校におけるESD（持続可能な教育）は、3年生以上の各学年の「総合的な学習」を中心に取り組んでいる。環境教育だけでなく、学年の主な行事との関連を考えて、主たる取り組みを決め、年間計画を立てて取り組んでいる。

3年生…地域学習 4年生…環境学習 5年生…食育 6年生…国際理解

(1) ESDカレンダーの作成

ESDカレンダーを以下のように作成し、実践に取り組んだ。

カレンダー作成に当たって留意したことは、まず各学年の主たる取り組みに対して、どの時期にどの位時間を使うのかを確認した。平成26年度の変更点としては、以下の点である。

- ① 新聞活用が校務分掌上の担当者が変更になったことで、5年生から6年生になった。
- ② 国際理解として、昨年度は取り組み学年を6年生のみと決めていたが、今年度はどの学年も何らかの形で取り組むことにした。
- ③ 同じように環境教育についても、エコスクールとして取り組む4年生を中心に、その他の学年も取り入れ、学校全体として考えていくようにした。
- ④ 福祉実践教室が5年生以上で行うように指導があったので、5年生に組み入れた。

	領域	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年	国際	5						○	○			○		
	地域	20		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	情報	10		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
4年	環境・国際	24		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	情報	11		○	○	○		○			○	○		○
5年生	食育・環境	50	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	福祉・国際	8						○		○	○	○		
	情報	12		○		○		○		○		○		○
6年生	国際	42	○	○	○	○		○	○	○		○	○	
	新聞活用	12								○	○	○		
	情報	16	○	○	○	○				○	○	○	○	○

(2) 各領域の取り組み

① 地域

3年生の社会科を補充深化する形で取り組んでいる。年度末には、校区地図を作成している。校区内の歴史的な建物や場所については、自分達で足を運び、取材をしてまとめている。

② 国際理解

今年度は、一宮市の国際交流員のお二人を講師に招いて、イタリアとニュージーランドのお話を聞く機会を持つことができた。各学年で、内容を検討して、それぞれの総合や教科等の内容に関連するようにした。4年生については、環境に取り組んでいるので、それぞれのお国の環境に対する考え方や小学校での取り組み内容を紹介してもらい、自分達の取り組みをもとに質問をして、紹介を聞くことができた。このようにして、5年生なら食育、6年生なら日本との比較という

点からお話を聞き、質問し、教えていただくことができた。

6年生は、今まで茶の湯や墨絵の体験を校内の職員を講師として行ってきた。今年度は、社会科の発展としての「大仏を描く」ことや修学旅行の目的地を調べたりすることを自国理解として、行ってきた。また、「百人一首」を覚えられるように年間通じて取り組んだ。3学期の授業公開では、学年大会を開き、日頃から暗唱してきた好きな歌を中心に他の学級の子たちと真剣に札を取り合っていた。



③ 環境

3年生は、理科で草花やモンシロチョウの成長を観察した。市内各学校で行われている「ヤゴ救出作戦」も自然と環境を考える良い機会となった。

4年生では、社会科の「水」「ごみ」学習や春季遠足で東部浄化センター見学で、環境保全に対する意識を高めた。総合的な学習の時間では、エコスクール運動の一環として、エコレンジャー活動を行った。各クラスで曜日や場所を決め、放課や掃除の時間に節水や節電、ゴミの分別の呼びかけをしたり、各クラスにあるリサイクルボックスの回収をしたりしている。



6年生は、学校の西側にある浅野公園で、毎年5月に市内の方々の協力によって、ホタルの幼虫の放流を行っている。ホタルはきれいな場所ではしか生きられないことや成虫になれる確率がとても低いことを知り、身近な場所の環境保全や生命尊重への意識が高められた。



その他、学校全体での取り組みとして、「エコキャップ運動」「一人一鉢運動」があり、さらには、委員会活動として「緑のカーテン」、学校に隣接する畑で1～4年生による「サツマイモの栽培」も実施している。これらの活動時間を総合的な学習の時間として充てている。

④ 福祉

今年度から5年生で行うことになった「福祉実践教室」であるが、該当学年の子どもたちは、すでに2年前に経験してきている。内容的に同じになっても、ポイントを再確認できるし、子どもたちの心の成長が感じられる対応ができるのではないかと考え、実施した。他人を思いやるやさしい心を持つ子どもたちになるよう1学期の野外教育活動でも「協力」「思いやり」からなる「わ」を目標に掲げてきた。次年度からもこうした「心」をキーワードにして、年間の取り組みになるようにつなげたい。

⑤ 食育

5年生は、理科の発芽で使用した大豆を育てて収穫し、とれた大豆で浅野オリジナルブレンド味噌づくりを行っている。味噌作りは大豆を煮ることから始まり、そこから大豆を細かくつぶし麴などを混ぜ合わせて1日ばかりで作る。作った味噌は1年間発酵させ、6年生の学校公開でみそ汁を作って家族をもてなす。



⑥ 新聞活用

高学年の毎日の活動として、朝の会での新聞記事紹介を行っている。それをもとに2学期の後半で、今までストックしてきた記事をB紙にまとめていくようにさせる。テーマを変更する場合もあるが、自分で決めた内容なの



で、毎年楽しんで取り組んでいる。今年度は、6年生がグループ毎にコンクールに参加した。

⑦ 情報

1年生からパソコン室の割当表に基づいて、1か月に1回くらいのペースで使用している。教科等の調べやまとめとして学年の発達段階に応じて、ワープロソフトやデジカメのデータの取り込みを行い、お絵かきの作品をはじめ資料やレポートを作成した。

3 研究の成果と課題

ESDカレンダーを作成することによって、「総合的な学習の時間」を有効に使うように計画できた。それぞれの学年の中心テーマである「地域」「環境」「食育」「国際理解」において、積み重ねられてきた実践の幅が広がった。

一方、課題としては、「体験活動」の年間計画への位置づけがある。今年度の教員による学校評価では、国際交流週間の設定により、毎週行っている英語活動や情報教育(パソコン教育)と同程度となり、体験活動や外部講師の導入は活動を活性化させることが分かった。ここで、次年度の年間計画を見直し、核となる体験活動や外部講師導入を組み込んでいき、問題解決型の授業を実践できるようにしていきたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

■ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

□ 時間外活動の時間を使用

□ ユネスコクラブの活動として実施

□ その他()